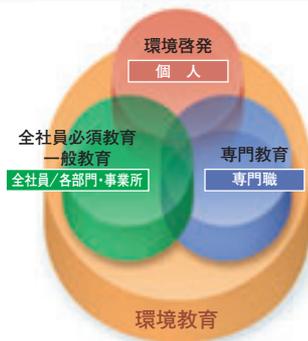




# 地球市民としての責任を持ち、自ら環境経営を推進できるよう社員の意識啓発に取り組んでいます。

全員参加の環境経営を実りあるものにするには、トップの意思表示や各部門での積極的な活動はもちろん、社員の意識改革も重要です。環境経営は企業としての活動ですが、実際は社員一人ひとりが行っている活動だからです。リコーグループには、全世界で約73,000人の社員がいます。社員の意識の持ち方によって、同じ活動でも、その成果は大きく異なってきます。「地球市民」「リコーグループの社員」、そして「環境経営を推進するためのスペシャリスト」として、社員が成長していくための教育・啓発活動を行っています。



## 地球市民としての啓発

### 環境ボランティアリーダーの養成

#### 《リコーグループ/日本》

社員の意識啓発のために、1999年から「環境ボランティアリーダー養成プログラム\*」を実施し、社員の環境ボランティア活動をサポートしています。 \* 69ページを参照。

### 環境家計簿による意識啓発

#### 《リコー販売事業本部・販売会社など/日本》

「会社で環境経営を進めることはもちろん、家庭に帰っても環境保全に関わる活動を行って欲しい」という思いから、リコー販売事業本部では全国の販売会社などと環境家計簿「エコライフノート」の普及に取り組んでいます。「エコライフノート」は社内のデータベースに組み込まれており、参加者の情報交換なども可能になっています。2003年度末には、400世帯以上が参加しました。



環境家計簿「エコライフノート」のデータベース

### 環境月間記念講演会

#### 《リコーグループ/日本》

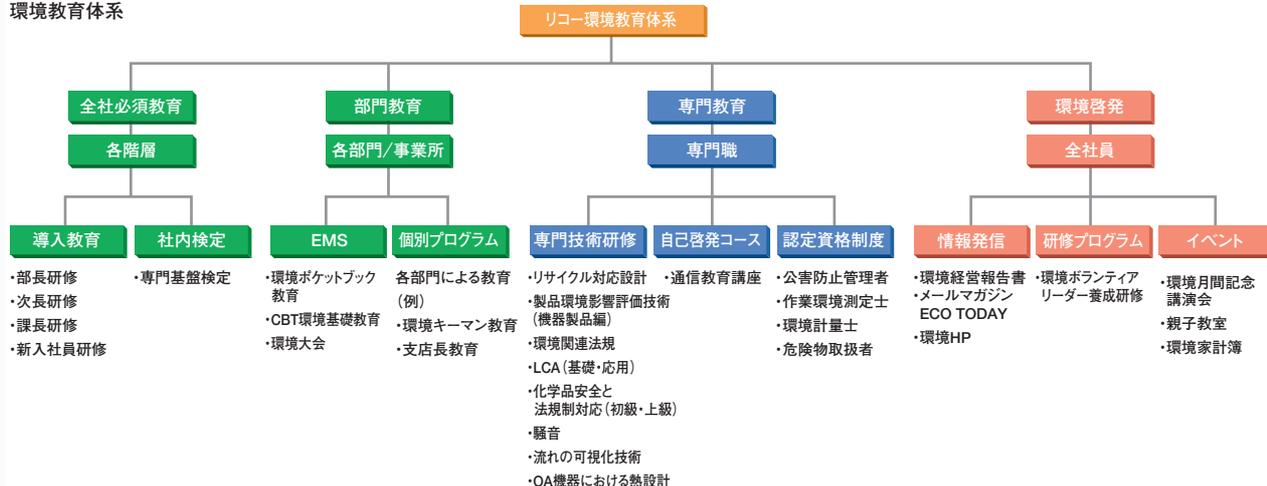
2001年度より、グループ社員の意識啓発のために、環境月間記念講演会を開催しています。2003年度は、「原生自然と身近な自然の現状・再生」をテーマに、沖縄国際大学・国際交流センター所長の宮城邦治さん、東京情報大学・環境情報学科教授のケビン・ショートさんをお招きし基調講演を行っていただきました。社員だけでなく、外部の方々にもご参加いただきました。

### リサイクルの啓発活動

#### 《リコーコーポレーション/アメリカ》

米州販売統括会社リコーコーポレーションは、米国のリサイクルデー(11月15日)に、社員の家にある使用済み電子機器を回収し、リコーグループのリサイクルセンターでリサイクルしました。この啓発活動は、2002年度から継続的に実施されており、地元の新聞にも取り上げられました。

## 環境教育体系



## リコーグループ社員としての教育・啓発

## リコーグループ環境大会

## 《リコーグループ/グローバル》

2004年2月、東京・大森事業所で「第10回リコーグループ環境大会」を開催しました。グローバル企業として全員参加の環境経営を推進するために、世界各極から集まったグループ社員に向けて、紙本副社長のスピーチやパネルディスカッションなどが行われました。また、「第2回 環境経営活動賞」の表彰式も行われました。



環境経営活動賞を受賞したRS事業部代表者と  
桜井社長(右2番目)

## ISO14001の認証取得・ごみゼロ活動

## 《リコーグループ/グローバル》

リコーグループは世界の生産拠点はもちろん、非生産拠点でも積極的にISO14001の認証取得を推進しています。環境マネジメントシステムを導入することで、社員は自らの業務や作業が環境に与える影響について学び、実際にさまざまな改善活動に取り組むことで環境に対する意識を高めていきます。また、ごみゼロ活動\*は、生産拠点だけでなく非生産拠点でも推進されています。ごみゼロは、全員参加でないと達成できないため、社員の意識啓発に大きな効果があります。

\* 59ページを参照。

## グループ内メールマガジン

## 「ECO TODAY」

## 《リコーグループ/グローバル》

環境情報を掲載したメールマガジン「ECO TODAY」をグループ内で定期的に発行しています。各部門の環境経営活動や、環境NPOなど外部の方々の考え方を紹介し、意識啓発を図っています。

## アースコネクションツアー

## 《リコーエレクトロニクス/アメリカ》

アメリカの生産会社リコーエレクトロニクス(REI)は、社員の意識啓発を促し、全員参加の環境経営を推進するために「アースコネクションツアー」を行っています。このツアーは社長以下責任者が参加し、現場を見学して環境経営改善活動のベストプラクティスをベンチマークするものです。参加者は、環境目標、現時点での達成状況、問題点、社員の提案による業務改善事例の発表を行います。2003年度には174件の改善を実施し、580,000 kWh以上の電力量削減、100kg以上の紙の使用量削減などの効果をあげました。改善の成果は、ツアー参加者を通じて、各部門に展開されます。ツアー参加者からは、改善を行なった現場に対して優れている点とっと改善できる点の2つのコメントが述べられ、より一層のレベルアップが図られています。

## 環境関連業務推進者の教育・啓発

## 「環境経営活動賞」

## 《リコーグループ/グローバル》

2002年度より「環境経営活動賞」を実施しています。この賞は、日常的な全員参加の改善活動を対象とする「環境経営改善活動賞」と、環境技術開発を対象とする「環境経営技術賞」の2部門で構成されており、両部門ともに環境保全効果および経済的利益創出の両面から評価が行われます。2003年度は、世界から31件のエントリーがあり、環境経営改善活動賞はRS事業部の「オンデマンドトナー充填機\*によるトナー生産プロセスの改善」が受賞しました。環境経営技術賞は今年度は該当なしでした。

\* 54ページを参照。

## 環境関連講座の開催

## 《リコーグループ/日本》

環境に配慮したものづくりや、適切な化学物質の管理を行うための人材を養成するために、LCAやリサイクル対応設計などの環境関連講座を実施しています。

## 環境関連講座(受講者数)

講 座 名	2003年度 受講者数(人)
リサイクル対応設計	36
製品環境影響評価技術(機器製品編)	47
環境関連法規	67
LCA(基礎)	25
LCA(応用)	7
化学品安全と法規制対応 ~初級~	32
化学品安全と法規制対応 ~上級~	12
騒 音	31
流れの可視化技術	15
OA機器における熱設計	16
合 計	288